

「議会に関するアンケート」報告書

令和2年3月

徳島県議会事務局政策調査課

目 次

I はじめに

1. 調査目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査時期	1
4. 調査方法	1

II アンケート集計の概要

1. 回答者の性別、出身、学年	2
2. 日々の生活での情報源	3
3. 投票行動	
(1) 「全体」及び「男女別」による投票行動	4
(2) 「出身地」による投票行動	5
4. 投票に行った選挙	6
5. 選挙に行かなかった理由	
(1) 行かなかった理由	7
(2) 「出身地」と選挙権の有無	8
6. 政治への関心	
(1) 全体及び男女別での「政治への関心」	9
(2) 「政治への関心」と投票行動	10
7. 政治に関心が無い理由	11
8. 地方議会の役割等	12
9. 政治等についての学習状況	13
10. 地方議会の傍聴について	14
11. 意識の変化について	15
12. 職業としての議員について	16
13. 地方議会への関心を高める対策	17

I はじめに

1. 調査目的

徳島県内の18・19歳の投票率が低迷し、若者の政治離れが進んでいるといわれる中、政治や都道府県議会・市町村議会（以下「地方議会」という。）に対する若者の意識や考えを把握し、地方議会の在り方や方向性を探り、今後の議会運営・議会改革の参考とすることを目的に実施した。

2. 調査対象

徳島県議会と包括連携協定を締結している徳島文理大学及び四国大学の学生

3. 調査時期

令和元年9月から令和2年1月まで

4. 調査方法

各大学における抽出調査

Ⅱ アンケート集計の概要

1. 回答者の性別、出身、学年

【問1】あなたご自身について（性別、学年、出身地）

	人数	構成比
男性	209	59.7%
女性	141	40.3%
無回答	0	0.0%
計	350	

	人数	構成比
県内出身	214	61.1%
県外出身	127	36.3%
無回答	9	2.6%
計	350	

1年		2年		3年		4年		無回答		計	
人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
215	61.4%	85	24.3%	12	3.4%	37	10.6%	1	0.3%	350	—

徳島県議会と包括連携協定を締結している徳島文理大学及び四国大学の御協力により、学生350人から回答を得られた。

男女別では、
男性209人で59.7%、女性141人で40.3%。

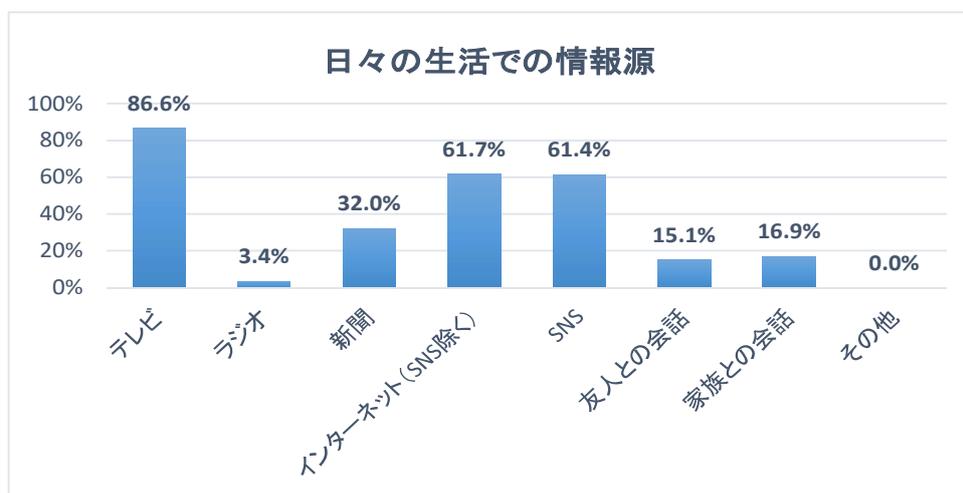
出身地別では、
県内出身者214人で61.1%、県外出身者127人で36.3%、無回答9人で2.6%。

学年別では、
1年は215人で61.4%、2年は85人で24.3%、3年は12人で3.4%、
4年は37人で10.6%、無回答は1人で0.3%であった。

2. 日々の生活での情報源

【問2】日々の生活で、主に何から政治に関する情報を得ていますか。
(上位3つ選択)

	計	構成比
テレビ	303	86.6%
ラジオ	12	3.4%
新聞	112	32.0%
インターネット(SNS除く)	216	61.7%
SNS	215	61.4%
友人との会話	53	15.1%
家族との会話	59	16.9%
その他	0	0.0%
計	970	○/350



学生たちが日頃何から政治に関する情報を得ているのか、上位3つを選択してもらった。

- ①テレビ 86.6%
- ②インターネット (SNS除く) 61.7%
- ③SNS 61.4%

が上位3つで、6割を超える者がこの3つから情報を得ていた。

- ④新聞 32.0%
- ⑤家族との会話 16.9%
- ⑥友人との会話 15.1% と続き、

一番少なかったのが

- ⑦ラジオで、その割合はわずか3.4%にとどまった。

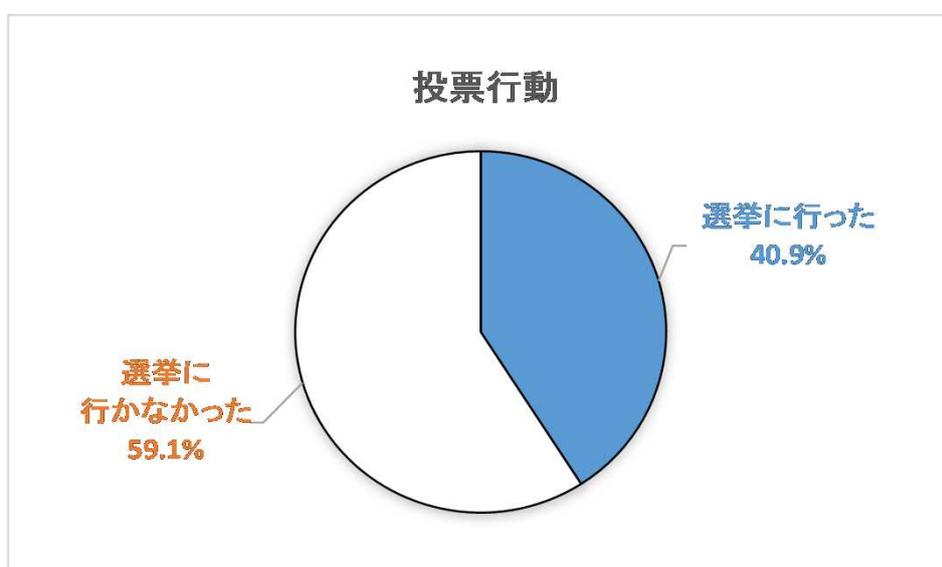
昨今、若者の間ではインターネットやSNSがなくてはならないツールとして普及しているが、アンケート結果から見ると、情報ツールとしてのテレビの存在は、まだまだ根強いものがあることがわかった。

3. 投票行動

【問3】今年実施された選挙に行きましたか

(1) 「全体」及び「男女別」による投票行動

	全体		男女別			
	計	構成比	男性	構成比	女性	構成比
選挙に行った	143	40.9%	79	37.8%	64	45.4%
選挙に行かなかった	207	59.1%	130	62.2%	77	54.6%
計	350		209		141	



令和元年に実施された何らかの選挙に行ったかどうか。

全体では、

「行った」が143人で40.9%

「行かなかった」が207人で59.1%となり、

何らかの選挙に行った者は4割を超える結果となった。

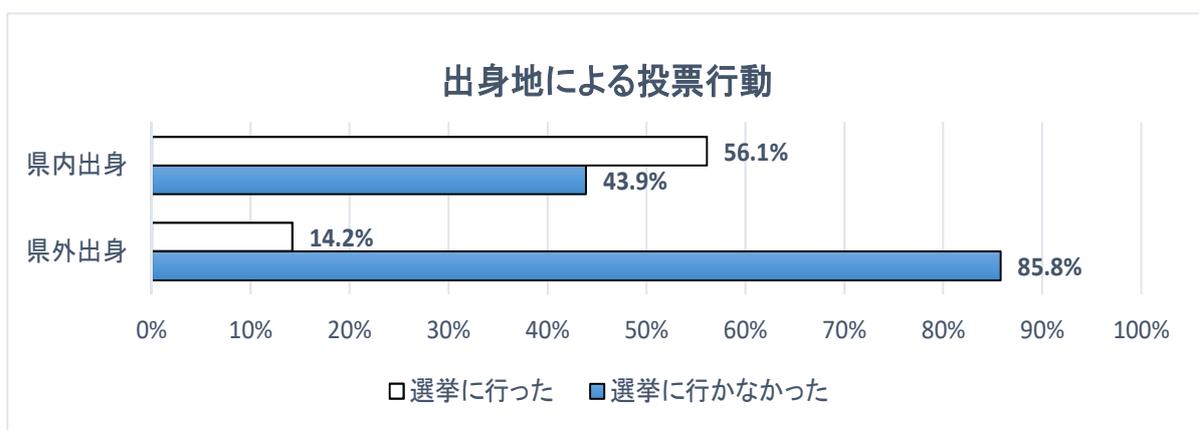
「男女別」と「投票行動」のクロス集計では、

選挙に行った男性は37.8%、

女性は45.4%で、投票した人の割合は女性のほうが高かった。

(2) 「出身地」による投票行動

	出身地					
	県内		県外		無回答	
	県内	構成比	県外	構成比	無回答	構成比
選挙に行った	120	56.1%	18	14.2%	5	55.6%
選挙に行かなかった	94	43.9%	109	85.8%	4	44.4%
計	214		127		9	



「出身地」と「投票行動」のクロス集計では、
「県内出身者」の投票率は56.1%、
「県外出身者」の投票率は14.2%であった。

4. 投票に行った選挙

【問4】選挙に行った方、何の選挙に行きましたか。

	計	投票率
知事選挙	50	14.3%
県議会議員選挙	48	13.7%
市町村長選挙	42	12.0%
市町村議会議員選挙	42	12.0%
参議院選挙	60	17.1%
その他	0	0.0%
計	242	○ / 350



投票に行った選挙の種別では、投票率の高かった順から、

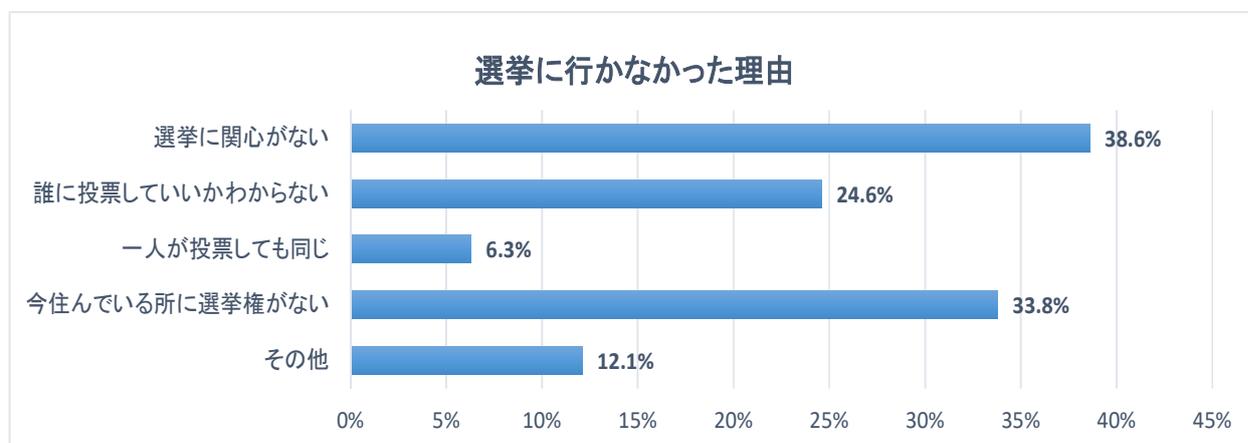
- ①参議院選挙 17.1%
- ②知事選挙 14.3%
- ③県議会議員選挙 13.7%
- ④市町村長選挙及び市町村議会議員選挙 12.0% であった。

5. 選挙に行かなかった理由

【問5】選挙に行かなかった方、なぜ選挙に行かなかったのですか。
(複数回答可)

(1) 行かなかった理由

	計	構成比
選挙に関心がない	80	38.6%
誰に投票していいかわからない	51	24.6%
一人が投票しても同じ	13	6.3%
今住んでいる所に選挙権がない	70	33.8%
その他	25	12.1%
計	239	○ / 207



理由の上位3つは、

- ①選挙に関心がない 38.6%
- ②今住んでいる所に選挙権がない 33.8%
- ③誰に投票していいかわからない 24.6% であった。

また、「その他」の回答として、

- 他にすべきことがあり、時間を費やしたくなかったから。
- 予定とかぶった。
- 別の用事があった。
- 時間がなかった。
- 時間が惜しいんだ。

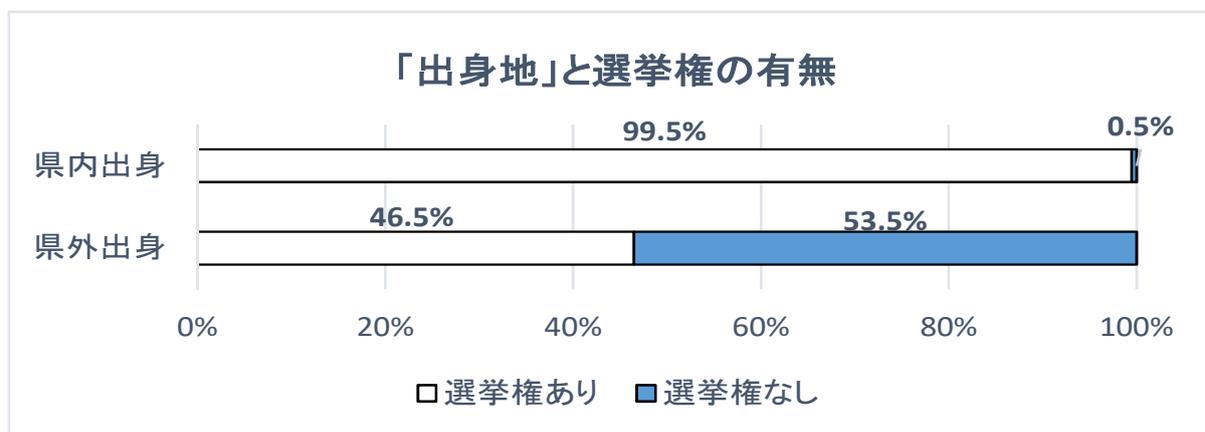
など、他の予定があつたり、時間がなくて行けなかったというものと、

- 忘れていたから。
- 知らなかった。
- 投票する紙が来ているのを知らなかった。
- 選挙をいつやってたのかまず知らない。

など、忘れていた、知らなかった、というものがあつた。

(2) 「出身地」と選挙権の有無

	人数	今住んでいる所に 選挙権がない	
		人数	構成比
県内出身	214	1	0.5%
県外出身	127	68	53.5%
無回答	9	1	11.1%
計	350	70	



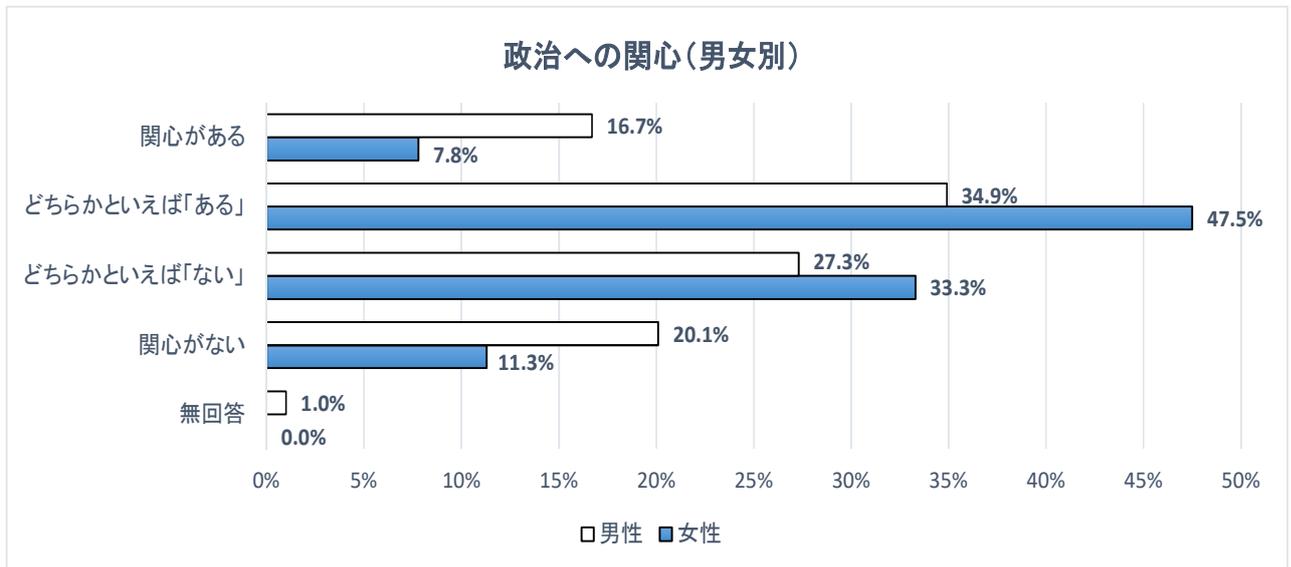
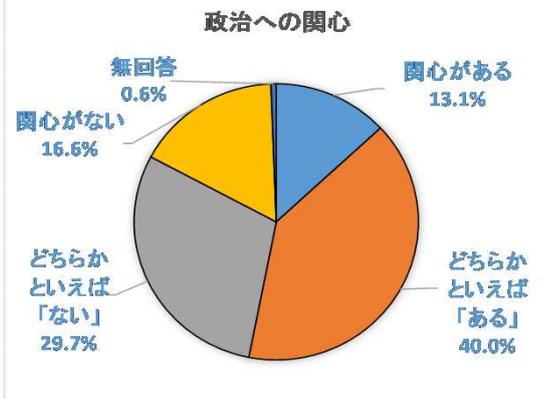
選挙に行かなかった理由として「今住んでいる所に選挙権がない」と回答した県外出身者は127人中68人で、53.5%を占め、県外出身者の過半数が選挙権のない状況である。

6. 政治への関心

【問6】政治に関心がありますか。

(1) 全体及び男女別での「政治への関心」

	全体		男女別			
	計	構成比	男性	構成比	女性	構成比
関心がある	46	13.1%	35	16.7%	11	7.8%
どちらかといえば「ある」	140	40.0%	73	34.9%	67	47.5%
どちらかといえば「ない」	104	29.7%	57	27.3%	47	33.3%
関心がない	58	16.6%	42	20.1%	16	11.3%
無回答	2	0.6%	2	1.0%	0	0.0%
計	350		209		141	



政治への関心について、
「関心がある」、「どちらかといえばある」、
「どちらかといえばない」、「関心がない」から1つ選択するもの。

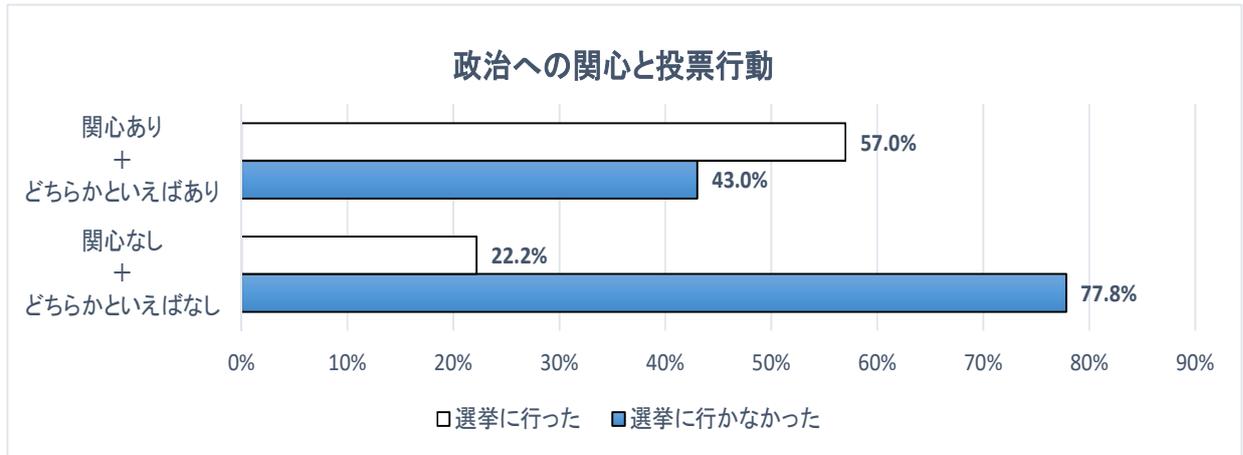
「関心がある」、「どちらかといえばある」を
合わせると186人、53.1%で、関心がある者は過半数となった。

「政治への関心」と「男女別」のクロス集計では、
「関心がある」と回答した男性は16.7%、女性は7.8%で、
関心がある男性は、女性の2倍以上であったが、

逆に、「関心がない」と回答した男性は20.1%に対し、女性は11.3%で、
関心がない男性も、女性の2倍近い結果となった。

このことから、「政治への関心」については、
男性のほうが女性に比べ、二極化の傾向が強いことがわかった。

(2) 「政治への関心」と投票行動



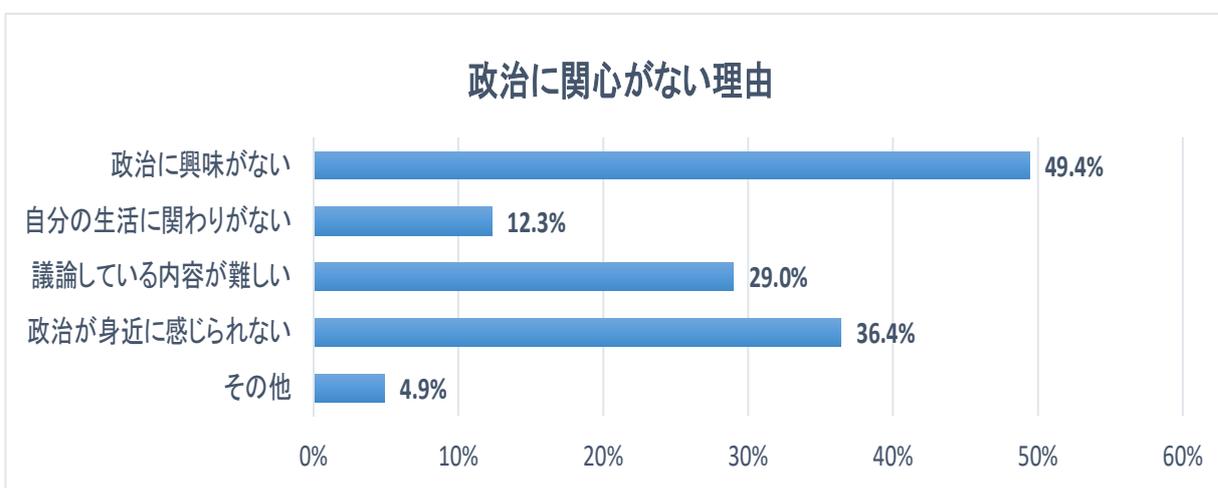
「政治への関心」と「投票行動」のクロス集計では、「関心がある」または「どちらかといえば関心がある」と回答した者の投票率は57.0%、

「関心がない」または「どちらかといえば関心がない」と回答した者の投票率は22.2%であった。

7. 政治に関心がない理由

【問7】「どちらかといえば関心がない」「関心がない」と答えた方、関心がない理由は。（複数回答可）

	計	構成比
政治に興味がない	80	49.4%
自分の生活に関わりがない	20	12.3%
議論している内容が難しい	47	29.0%
政治が身近に感じられない	59	36.4%
その他	8	4.9%
計	214	○／162



理由の上位3つは、

- ①政治に興味がない 49.4%
- ②政治が身近に感じられない 36.4%
- ③議論している内容が難しい 29.0% となった。

「その他」の回答としては、

- 何も変わらないから。
- 情報は入ってくるがあまり成果を感じられない。
- 議員の言っていることとやっていることが違うから。
- 政治を考える時間が無駄である。
- 何をしているか知らないといけないシーンが生活にないので知らなくても困らなそう。

などの回答があった。

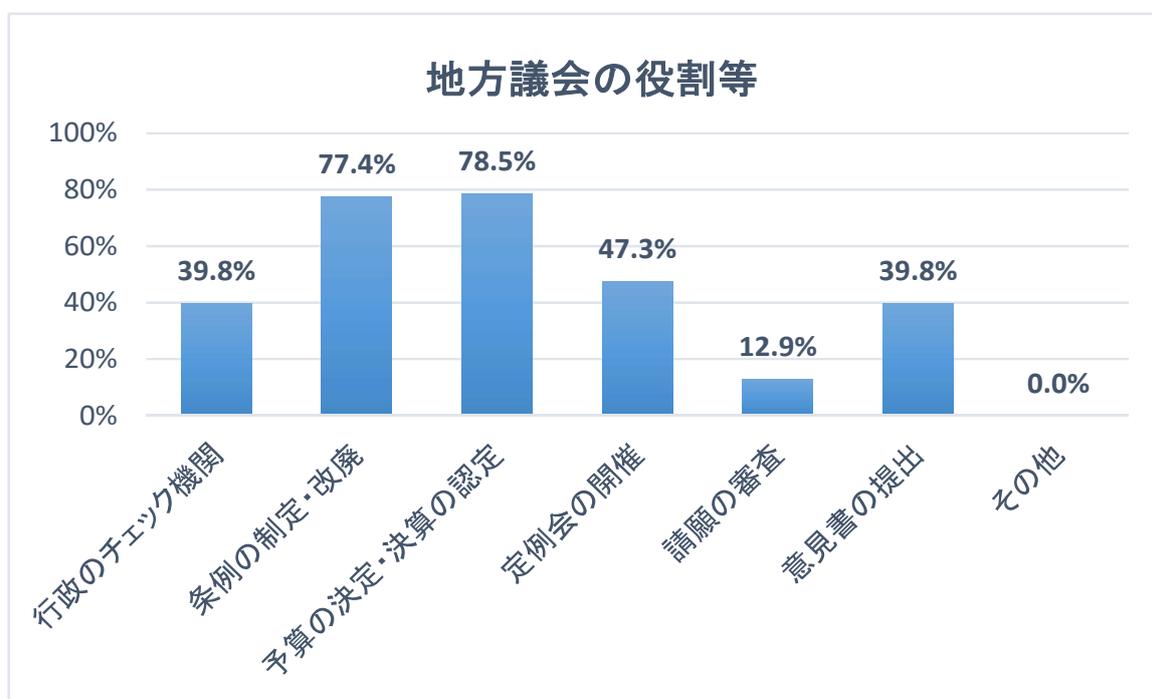
8. 地方議会の役割等

【問8】地方議会の役割や活動を知っていますか。

【問9】知っている人、知っている主な内容は。（複数回答可）

	計	構成比
知っている	93	26.6%
知らない	255	72.9%
無回答	2	0.5%
計	350	

	計	構成比
行政のチェック機関	37	39.8%
条例の制定・改廃	72	77.4%
予算の決定・決算の認定	73	78.5%
定例会の開催	44	47.3%
請願の審査	12	12.9%
意見書の提出	37	39.8%
その他	0	0.0%
計	275	○/93



役割や活動を「知っている」との回答は93人で26.6%。

知っている内容については、

「予算の決定・決算の認定」78.5%

「条例の制定・改廃」77.4%）が上位2つ、

続いて、

「定例会の開催」47.3%

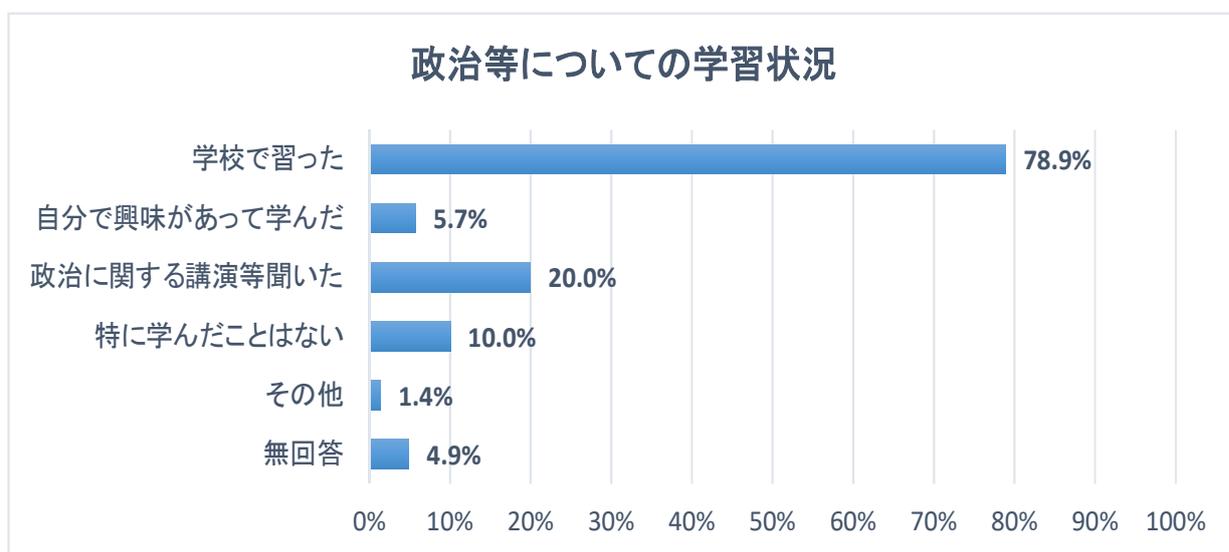
「行政のチェック機関」、「意見書の提出」ともに39.8%

「請願の審査」は12.9%という結果となった。

9. 政治等についての学習状況

【問10】 政治や議会について学んだことはありますか。（複数回答可）

	計	構成比
学校で習った	276	78.9%
自分で興味があって学んだ	20	5.7%
政治に関する講演等聞いた	70	20.0%
特に学んだことはない	35	10.0%
その他	5	1.4%
無回答	17	4.9%
計	423	○/350



政治や議会についての学習状況については、
「学校で習った」が突出しており276人で78.9%。

続いて

「政治に関する講演等を聞いた」が70人で20.0%、
「自分で興味があって学んだ」が20人で5.7%となった。
「特に学んだことはない」は35人で10.0%であった。

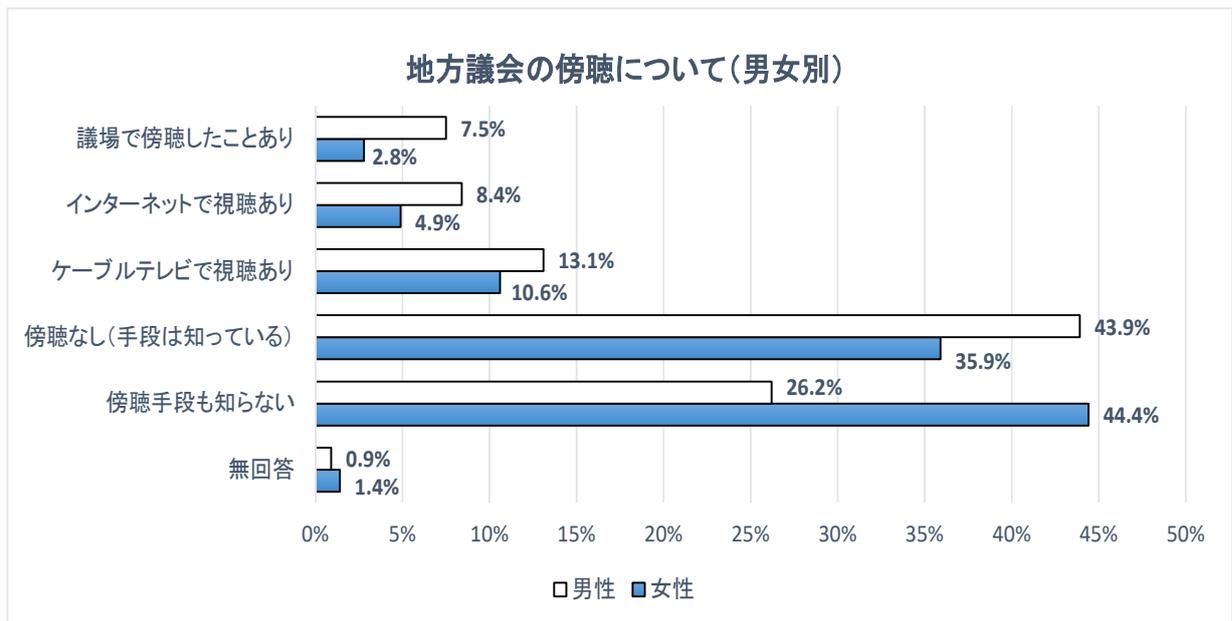
また、「その他」の回答では、
○修学旅行で国会議事堂、最高裁判所を訪れて話を聞いた。
○インターネットを通じて色々な情報が入り、学ぶことが多々あった。

などの回答があった。

10. 地方議会の傍聴について

【問11】 地方議会を傍聴（視聴）したことがありますか。（複数回答可）

	全体		男女別			
	計	構成比	男性	構成比	女性	構成比
議場で傍聴したことあり	20	5.7%	16	7.5%	4	2.8%
インターネットで視聴あり	25	7.1%	18	8.4%	7	4.9%
ケーブルテレビで視聴あり	43	12.3%	28	13.1%	15	10.6%
傍聴なし(手段は知っている)	145	41.4%	94	43.9%	51	35.9%
傍聴手段も知らない	119	34.0%	56	26.2%	63	44.4%
無回答	4	1.1%	2	0.9%	2	1.4%
計	356	○/350	214		142	



傍聴（視聴）経験者は、割合の高いものから、

- ①ケーブルテレビ 12.3%
- ②インターネット 7.1%
- ③議場 5.7% であり、

ここでもインターネットよりテレビでの視聴割合のほうが高い結果となった。

傍聴経験がない者は264人で、全体の75.4%を占めた。

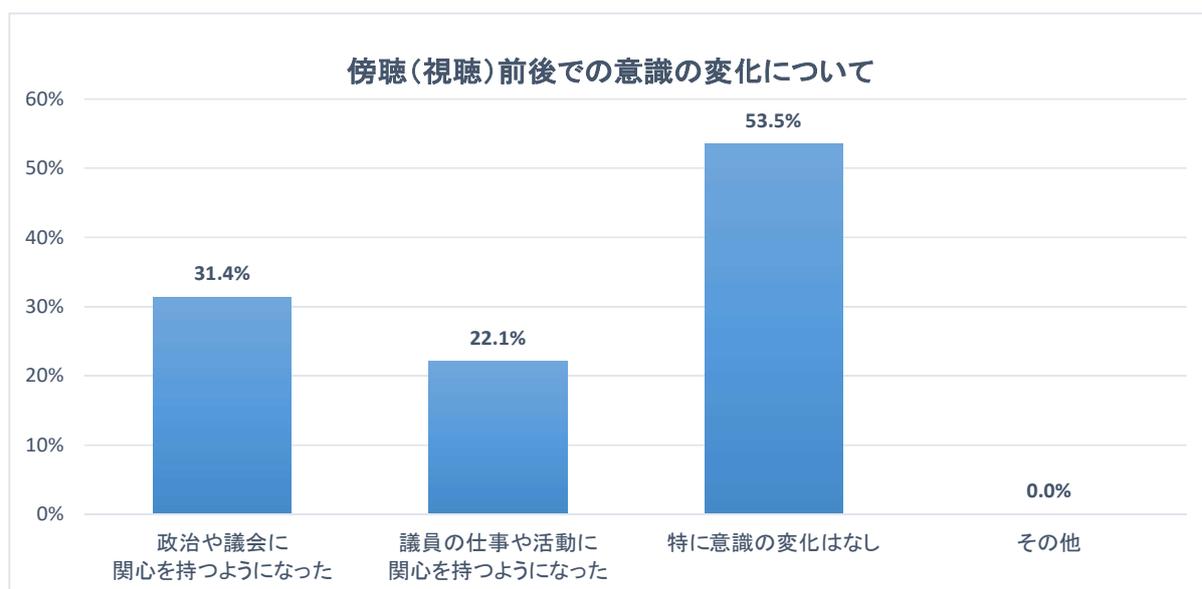
「男女別」と「傍聴（視聴）の有無」のクロス集計では、傍聴（視聴）経験について、

「議場」、「インターネット」、「ケーブルテレビ」すべての項目で男性のほうが女性より割合が高い結果となった。

11. 意識の変化について

【問12】傍聴（視聴）する前と後で意識の変化はありましたか。
（複数回答可）

	全体		男女別			
	計	構成比	男性	構成比	女性	構成比
政治や議会に関心を持つようになった	27	31.4%	18	26.9%	9	36.0%
議員の仕事や活動に関心を持つようになった	19	22.1%	15	22.4%	4	16.0%
特に意識の変化はなし	46	53.5%	34	50.7%	12	48.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	92	〇/86	67		25	



傍聴経験者86人において、意識の変化があったかどうかについての回答。

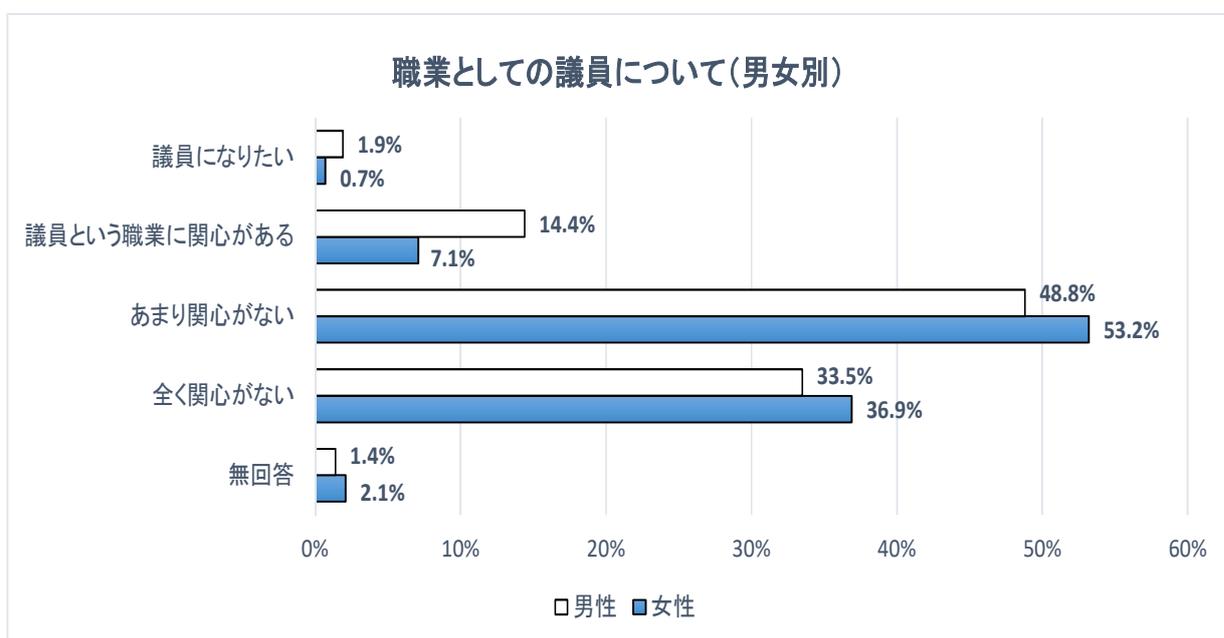
意識の変化があったものとして、「政治や議会に関心を持つようになった」が31.4%、「議員の仕事や活動に関心を持つようになった」が22.1%となり、「意識の変化なし」は46人で53.5%であった。

「男女別」と「意識変化の有無」のクロス集計では、男女間の差はあまり見られなかった。

12. 職業としての議員について

【問13】 職業としての議員についてどのように考えますか。

	全体		男女別			
	計	構成比	男性	構成比	女性	構成比
議員になりたい	5	1.4%	4	1.9%	1	0.7%
議員という職業に関心がある	40	11.4%	30	14.4%	10	7.1%
あまり関心がない	177	50.6%	102	48.8%	75	53.2%
全く関心がない	122	34.9%	70	33.5%	52	36.9%
無回答	6	1.7%	3	1.4%	3	2.1%
計	350		209		141	



「職業としての議員」について、
自分の考えに一番近いものを回答してもらった。

全体では、無回答を除き、
「あまり関心がない」が177人で50.6%、
「全く関心がない」が122人で34.9%、
「議員という職業に関心がある」が40人で11.4%、
「議員になりたい」が5人で1.4%の順となった。

「男女別」のクロス集計では、
「議員になりたい」と「議員という職業に関心がある」の
項目について、

「議員になりたい」男性（1.9%）に対し女性（0.7%）、
「議員という職業に関心がある」男性（14.4%）に対し女性（7.1%）と、
男女間で差が見られた。

13. 地方議会への関心を高める対策

【問14】 地方議会への関心を高めるためには、
どのような対策が必要だと思いますか。（自由記載）

- ・ 多かった意見を以下のとおり分類した。主な意見は次のとおり。
(原文のまま記載)

① SNSやインターネットを積極的に活用すべき

- ネットを活用する（地方議会について解説した動画を作るなど）
- 最近ではTVの影響力が下がっているため、一番関心のなさそうな若者の目につきやすいSNSを活用すべきである。実際に「徳島」と書かれていたら目を引く。
- 現在はインターネット社会で、一人が携帯を所持している時代です。この事から、使用している数が多いアプリに地方議会の事について、面白おかしく紹介するなど、時代の変化に対応したやり方にシフトする事が重要なのではないのでしょうか。
- もっとSNSを有効に活用すべき。
- アップルストアでアプリを開発する。

② 学校の授業で学ぶ機会を増やすべき

- 義務教育でもっと政治、地方議会について学ばせる。
- 授業の中で地方議会に行くのを県内の高校全部で実施したらいいと思う。
- 議会の傍聴で単位の取得が可能とする。
- 「投票しても無意味ではないか？」という考えをなくすような説明、講演を授業で行うべき。投票すること自体にどのような意味があるのかの詳細な説明がなければ呼び込みは難しいと思う。
- 議員という存在が一般市民からすると立場が高い人物であり、関わりがたい所があると思う。なので今回のような大学での講座だけでなく、もっと若い中・高生でも講座を増やすと、より議員という存在が身近なものとなり、若い方たちの関心が高まると思う。

③広報手段を工夫するべき

- 年上へのアプローチが多いようには思う。若い人へのアプローチを増やす。
- 地方議会が自分たちにとって何をしてくれているのかをもっとわかりやすく広めたらいいと思う。
- まずは行われていることを知ることが大事だと思うので、日程を市民に知らせる手段を増やす。
- 普段生活している上で、あまり議会についての情報が得られることが少ないので、もっと情報入手しやすくなればいいと思う。現状、関心のある人しか情報入手できていないと思う。
- もっと地方のニュース番組などで地方議会のことを放送したりして、とにかく多くの人の目にとまるようにすることで、関心を持ってもらえる可能性もあると思うので、まずは何かの手段を使って知ってもらうということが一番重要になってくると思う。手段の例としては、駅などで議会の説明等が書かれた紙を入れた小物などを配布するといった方法がまだやりやすいと思う。

④その他の意見

- もっと選挙をするときの演説で若者向けの公約を話してほしい。
- 分かりやすく教えてくれる場を作ってほしい。
- 地方議会をテーマとしたドラマを放送すること。
- 一般市民には関心がないと思われがちなので、国や政治を例に用いず、我々の生活を例えに使うことで、より身近に感じてもらうことが出来る。
- もっと開けた議会にすべき。あまり知られていないために、良くするための地域からの提案や意見が出ないだけである。あとは、議会の存在感がうすいため、力を注いでもらいたい。
- 関心を高めるメリットがないとわざわざ1から調べる気にならない。自分一人が知っても特に何もかわらなさそう。知っていた方が得するような世の中なら知りそう（多分そういう世の中だとは思いますがあまりそう感じない）知っていて当たり前、知らないからこういうことがおこっている、みたいな感じより、知っているとうこういう時便利とか、こういう時知らない人よりも得してるみたいな、知って得することを紹介するスタイルでいった方がいいと思いました。
- 政治に興味を持つことが重要だと思った。政治とはどんなものか、どんな風に関わっているのかわかりやすく伝えるという対策をして貰えたらありがたいし、私も政治や地方議会のことをちょっと意識して生活しようと思った。

議会に関するアンケート

このアンケートは、徳島県内の18・19歳の投票率が低迷し、若者の政治離れが進んでいると言われる中、政治や都道府県議会・市町村議会（以下「地方議会」という。）に対する若者の意識や考えを把握し、地方議会の在り方や方向性を探り、今後の議会運営・議会改革の参考とすることを目的に実施するものです。

このアンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

（※回答は、該当する番号に○印を付けてください。）

【徳島県議会】

【問1】あなたご自身について

性別

- 1 男
- 2 女

学 年

- 1 1年
- 2 2年
- 3 3年
- 4 4年

出身地

- 1 県内
- 2 県外

【問2】日々の生活で、主に何から政治に関する情報を得ていますか。次の選択肢から上位3つを選んでください。

- 1 テレビ
- 2 ラジオ
- 3 新聞
- 4 インターネット（SNS以外）
- 5 SNS
- 6 友人との会話
- 7 家族との会話
- 8 その他

〔 〕

【問3】今年実施された選挙に行きましたか

- 1 行った →【問4】へ
- 2 行かなかった →【問5】へ

【問4】問3で「行った」と答えた方にお聞きします。
何の選挙に行きましたか（複数回答可）

- 1 知事選挙
- 2 県議会議員選挙
- 3 市町村長選挙
- 4 市町村議会議員選挙
- 5 参議院選挙
- 6 その他

〔 〕

【問5】問3で「行かなかった」と答えた方にお聞きします。

なぜ選挙に行かなかったのですか。(複数回答可)

- 1 選挙に関心がなかった
- 2 政策や人物像がわからず、誰に投票していいかわからなかった
- 3 私一人が投票してもしなくても同じだから
- 4 今住んでいる所に選挙権がないから(徳島に住民票がない等)
- 5 その他

{ }

【問6】政治に関心がありますか

- 1 関心がある
- 2 どちらかといえば関心がある
- 3 どちらかといえば関心がない
- 4 関心がない

} → 【問8】へ

} → 【問7】へ

【問7】問6で「どちらかといえば関心がない」「関心がない」と答えた方にお聞きします。

関心がない理由を教えてください。(複数回答可)

- 1 政治に興味がない
- 2 自分の生活に関わりがない
- 3 議論している内容が難しい
- 4 政治が身近なものに感じられない
- 5 その他

{ }

【問8】地方議会の役割や活動を知っていますか。

- 1 知っている → 【問9】へ
- 2 知らない → 【問10】へ

【問9】問8で「知っている」と答えた方にお聞きします。

知っている主な内容を教えてください(複数回答可)

- 1 行政のチェック機関
- 2 条例の制定・改廃
- 3 予算の決定・決算の認定
- 4 定例会の開催
- 5 請願の審査
- 6 意見書の提出
- 7 その他

(役割)

(活動)

{ }

【問10】政治や議会について学んだことがありますか。(4以外 複数回答可)

- 1 学校で習った
- 2 自分で興味があつて学んだ
- 3 政治に関する講演等を聞いたことがある
- 4 特に学んだことはない
- 5 その他

[]

【問11】地方議会を傍聴（視聴）したことがありますか。(1～3 複数回答可)

- 1 議場で傍聴したことがある
- 2 インターネットで視聴したことがある
- 3 ケーブルテレビで視聴したことがある
- 4 傍聴（視聴）したことがない【傍聴（視聴）の手段は知っている】
- 5 議場やインターネット等で傍聴（視聴）できることを知らない

→【問12】へ

→【問13】へ

【問12】問11で「議場で傍聴したことがある」「インターネットで視聴したことがある」「ケーブルテレビで視聴したことがある」と答えた方にお聞きします。

傍聴（視聴）する前と後で意識の変化はありましたか。(3以外 複数回答可)

- 1 政治や議会に関心を持つようになった
- 2 議員の仕事や活動に関心を持つようになった
- 3 特に意識の変化はなかった
- 4 その他

[]

【問13】職業としての議員についてどのように考えますか、自分の考えに一番近いものを1つ選んでください。

- 1 議員になりたい
- 2 議員という職業に関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 全く関心がない

【問14】地方議会への関心を高めるためには、どのような対策が必要だと思いますか。ご自由にお書きください。

[]

ご協力ありがとうございました。